令和５年度「夏休み！裁判所子ども見学会」を開催しました。（８月８日）

小学校５、６年生とその保護者を対象に、令和５年度「夏休み！裁判所子ども見学会」を開催しました。今年度は、裁判員制度により一層興味を持ってもらえるよう、参加者に対し、普段、裁判員候補者に送付している呼出状を模した案内状を送付し、裁判所に来ていただきました。

４年ぶりの開催ではありましたが、１００名ほどの親子の皆様にご参加いただきました。

模擬裁判員選任手続

参加者には、６ 階の裁判員受付事務室で裁判員候補者と同じように受付をしていただいた後、実際に選任手続が行われる「裁判員候補者待機室」に集まっていただきました。所長挨拶、裁判所についての説明のあとは、模擬の質問手続として、○×クイズ大会を実施しました。また、模擬の選任手続として、この後行われる模擬裁判員裁判の配役決めを行いました。

クイズ大会。○×のパネルを掲げていただき、大いに盛り上がりました。

配役決め。希望が多い役は、くじで配役を決めていきます。

模擬裁判員裁判

続いて、９階の法廷に移動し、２つのグループに別れて、模擬裁判員裁判を行いました。子どもたちに、裁判官、裁判員、検察官、弁護人のいずれかの役を演じてもらい、裁判員裁判の判決宣告まで行いました。参加者の皆さんがとても上手にセリフを読んでくれたおかげで、本番さながらの模擬裁判員裁判を行うことができました。

判決宣告シーン。緊張した空気の中、被告人に判決が言い渡されます。

評議シーン。被告人の罪や量刑について、グループごとに話し合います。

裁判官への質問コーナー

模擬裁判のあとは、１階の大法廷（１０１号法廷）に移動し、裁判官への質問コーナーを設けました。たくさんの方に手を挙げていただき、時間いっぱいまで質問が出されました。裁判官を「いい質問ですね！」と唸らせるような質問もあり、裁判所や裁判官に大変興味を持っていただけていることが伝わってきました。

ご参加いただいた方々の感想（一部抜粋）

- 裁判に対する「難しそう」というイメージを、少し分かったという気持ちにしてくれて良かった。
- 誰もが分かる簡単な言葉で分かりやすく説明して下さいました。
- 模擬裁判を拝見出来て、身近に感じられました。
- 普段入れない法廷にも入れて、裁判を身近に感じることができた。
- 模擬裁判では、台本を読んだ後に解説があったり、子ども達で考えさせたり、考える時間があって良かった。
- 大人も子供も楽しめるとても有意義な時間になりました。
- 子供達が自主的に動けるような内容で良かったです。
- 少し緊張していたが優しく分かりやすく説明してくれたり話してくれた。
- 裁判所の建物や法廷内（机・椅子）が素晴らしかった。ドラマやニュースで見るのとは、全く違ってました。
- 子どもが理解しやすい言葉や絵が使われていたことがとても良かったです。また、服装やしぐさ等から親近感を感じることが出来ました。

-編集後記-

今回は、参加者の方に模擬裁判員選任手続の体験後に、模擬裁判員裁判に臨んでいただきました。
本見学会を通じて、裁判員制度や裁判所のことについて、少しでも興味を持っていただければ幸いです。